



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2022年(令和4年)2月15日号 No.1883

目次

■ 2021年のロシア経済と鉱工業生産	1
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	ROTOBOモスクワ事務所 6
■ 統計速報	11
2022年1月のロシアのブランド別乗用車販売台数 / 11	
日本の対ロシア輸入商品構成(修正版) / 12	
■ キーパーソン	13
カザフスタン・アルマトイ市長交代 / 13	
■ エトセトラ	14
北極海航路、および北極圏開発における日ロ協力 / 14	
ROTOBO月例報告会「緊迫するロシア・ウクライナ情勢の政治的背景」 / 14	
■ トピックス	15
ガスプロムがドイツ元首相を取締役候補に指名 / 15	
ドイツ財務相が対ロ制裁のノルドストリーム2停止明言回避 / 15	
商船三井がArctic LNG2向けの定期傭船契約締結 / 15	
日本政府が対ロ制裁検討加速 / 15	
ドイツ首相がウクライナへの財政支援表明 / 16	
環境省がモンゴルからJCMクレジット獲得 / 16	
九州電力がウズベキスタンで発電事業に参画 / 16	
ロシア・NIS諸国の新型コロナウイルス関連ニュース / 17	

2021年のロシア経済と鉱工業生産

はじめに

ロシア連邦国家統計局より、2021年のロシアの主要経済指標が発表されたので、本速報ではそれらを図表にまとめてお届けする。鉱工業生産については特に詳しく紹介していく。なお、2021年のロシアの貿易統計に関しては、税関局のデータに基づき、後日より詳しくお伝えする予定である。

国内総生産(GDP)に関しては、まだ統計局が通年の数字を発表していないので、図表1では経済発展省が2月9日に発表した推計値を用いている。同省によれば、2021年のロシアのGDPは実質4.6%成長した。

2021年のロシアの鉱工業生産は、5.3%拡大した。主要工業製品の生産動向を見ると増加傾向にある項目が多く、主要産業であるエネルギーに注目すると、石油(+2.1%)、天然ガス(+10.6%)である。一方、硫酸(-12.9%)、テレビ受像機(-17.4%)、鉄道貨車(-20.7%)は、減少している。

連邦管区・地域別を見るとほとんどの項目で増加傾向にあることが分かり、連邦管区では中央連